

「縛る」の意味分析

藤 森 秀 美

要 旨

本稿は「縛る」の意味分析である。

本稿では「縛る」を多義語¹⁾であると捉え、3つの別義に分けて分析し、多義構造を示した。

多義化の起点である意味から2つの意味が派生しており、それを動機付けるのは、メタファーであるという仮説を提示した。

3つの別義に共通するのは〈内部に圧力をかけ、動きをとめる〉という意味成分である。意味の記述の際には、類義語である「結ぶ」²⁾と対比して述べた。

キーワード：「縛る」, 「結ぶ」, 多義語, 類義語, メタファー

0. はじめに

本稿の目的は、「縛る」が持つ複数の別義を記述し、それらの複数の意味間の関連を明らかにすることである。

意味を記述する際には、「縛る」の類義語である「結ぶ」と比較した。

以下、本稿の構成を述べる。1節では「縛る」の辞書類の記述を検討し、2節では先行研究の問題点を述べる。3節では本稿の分析の際に援用する概念について述べる。4節では「縛る」の類義語である「結ぶ」の意味を藤森 (2008)

により確認し、5節で「縛る」の分析を行う。6節では「縛る」の多義構造を記述する。7節では置き換えは可能であるものの、置き換えたことによる「縛る」と「結ぶ」の差違について述べ、8節では本稿のまとめを行う。

1. 辞書類の記述

『日本語基本動詞用法辞典』

①ひもや縄などを人や物に巻き付けて、動かないようにする。

刑事が泥棒を縛る

②ひもや縄などで人や物を動かない物に巻き付けて、動けないようにする。

強盗が子供を柱に縛った

③自由な活動ができないようにする。

政府が法律で国民を縛る

②は、対象物を固定する場所を明示している点が①とは異なるが、実際行われる動作は同じ

- 1) 多義語について国広 (1982) は次のように定義しており、本稿でもこれに従う。「多義語」(polysemic word)とは、同一の音形に、意味的に何らかの関連を持つふたつ以上の意味が結びついている語を言う。(P.97)
- 2) 「結ぶ」の意味分析の詳細は藤森 (2008) を参照していただきたい。

だと考えてよい。③は、①、②から派生した意味だと考えられる。

この記述では、各意味間の関係も明示されていない。

2. 先行研究

柴田武他(1987)は、「ムスブ・ユワエル・ツナグ・ククルなど」の中で、「縛る」と「くくる」についても言及している。共通の意味特徴は、「細長い物でなにかをまとめる」ということであり、「くくる」は「ゆるい」のに対し、「しばる」のは「きつい」と述べている。

そのような意味の違いが生ずるのは、「縛る」が、「その動作の目的を〈動くのをとめる〉ことにおいて」おり、くくるにはそれがないためだと述べている。

しかし、「縛る」が「ゆるい」と、また、「くくる」が「きつい」と共に用いられるのは以下の6例のように、ごく普通のことであり、それを両者の違いとするには問題がある。

- (1) 慣れないと、刈る作業よりも縛る作業の方が大変かもしれません。しかし、これが重要なポイント。ゆるく縛ると後々大変な事に……

(<http://pirikafarm.seesaa.net/article/116666028.html>)

- (2) 咬まれた部位より心臓に近い部分を、血の流れを減らす程度(指が1本通る程度)にゆるく縛ります。

(<http://www.yomitan.jp/3/2090.html>)

- (3) このとき、袋を押さえてみて空気が少しずつ抜ける程度に緩く縛ることが重要です(きつく縛ると発生した炭酸ガスにより、ポリ袋が破裂します)。

(<http://www.amy.hi-ho.ne.jp/brew/fermenter.html>)

- (4) 布をつまんで、糸を出来るだけきつくくくる。

(<http://www.recreation.or.jp/nature/recommends.php>)

- (5) 髪をきつめにくくると、少し目がたり上がった感じになり、顔の肌のたるみも少し引き上げられますよね。

(<http://oshiete1.goo.ne.jp/qa2204434.html>)

- (6) ここで、きつく括ること!

(<http://www11.plala.or.jp/satoyama-club/sub/experience/hepler/cutrice.html>)

3. 援用する概念について

本稿では、「縛る」を多義語として分析するが、「縛る」を分析する際に、レトリックの概念であるメタファーを、また、「結ぶ」を分析する際には、それに加えてメトニミーを用いる。

メタファー、メトニミーについては、舩山(2001)の以下の定義に従う。

メタファー：二つの事物・概念の何らかの類似性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喩。

メトニミー：二つの事物の外界における隣接性、あるいは二つの事物・概念の思考内、概念上の関連性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喩。

4. 類義語「結ぶ」の意味

「縛る」を考察する前に藤森（2008）により明らかになった「結ぶ」の別義を確認し、その多義構造を図1に示す。

「結ぶ」の意味

別義1：〈2本のひも³⁾のそれぞれの片方の端と端の間の距離をなくし、結び目を作ることで、離れなくする⁴⁾

(7) ひもとひもを結んで長くする⁵⁾。

別義2：〈ひもを用い、2つの物体間に存在する距離をなくし、結び目を作ることで、離れなくする〉

(8) 栈橋の杭と船をロープで結ぶ。

別義3：〈ひもを用い、物体間に存在する距離をなくし、結び目を作ることで、離れなくし、内容物の動きを止める〉

(9) 古新聞をビニールひもで結ぶ。

別義4：〈ひもを用い、結び目を作ることで、離れなくし、容器に入った内容物の流出をくいとめる〉

(10) 麻袋に豆を入れて、ひもで結ぶ。

別義5：〈ひもで結び目を作る〉

(11) 貝の口を結ぶ。

別義6：〈塊状の物を作る〉

(12) 庵を結ぶ。

なお、別義1, 2, 3, 4からは〈結び目を作ることで離れなくする〉、別義5, 6からは、〈構造物を作る〉という共通の意味成分が抽出可能である。

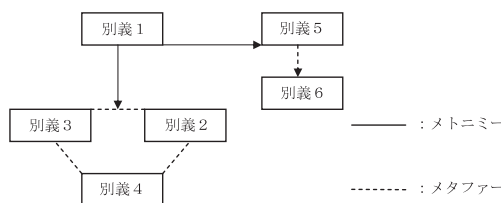


図1 「結ぶ」の多義構造

5. 分析

本節では、「縛る」を考察する。

別義1：〈ひも状のものを用い、内容物の中心へ圧力をかけることにより、物体間に存在する距離をなくし、離れなくし、動きを止める〉

(13) ハクサイを荒縄で縛っています。

(http://blog.livedoor.jp/tsubut-subu_farm/archives/51082377.html)

(14) 新聞紙・広告・チラシだけを一緒にまとめてひもで縛ってください。

(http://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/kankyo/gomi/gomi_guide/4kosi_nuno.pdf)

3) 本稿では「ひも」を、ある程度の弾力を持ち、一定の長さを持つ物とする。
 4) 本稿では、意味を〈 〉で括って示す。
 5) 本稿の例文で出典を示さないものは作例である。実例については出版物及びweb上に公開されている諸文書（検索エンジンgoo (<http://www.goo.ne.jp/>)、google (<http://www.google.com/intl/ja/>) にて検索)を参照した。分析対象語には下線を引いた

- (15) 新聞紙などをひもで縛ると、不器用のせいかゆるんでしまいます。

(<http://oshiete1.goo.ne.jp/kotaeru.php3?q=2124001>)

- (16) 上海蟹は生きたまま、藁で足を縛って流通させられる。

(<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%83%8B>)

この「縛る」は、「むすぶ」の別義3に対応するもので、「結ぶ」と置き換えは不可能ではない。しかし、置き換えた場合、①「結び目の有無」、②「力のかかる点」、③「美しさ」の3点において、差異が生ずるので、それについて述べたいと思う。

①[結び目の有無]

結び目において「縛る」と「結ぶ」には差異が認められる。

「結ぶ」の場合、結び目は不可欠である。しかし、「縛る」は結び目がなくてもかまわない。次の例は、結び目があるとは考えにくい。ゴムや輪ゴム自体に収縮性があり、二重、三重にまけば、内への力がかかり自ずからまとまるからである。

- (17) 洗ったねぎを白い部分の根元を輪ゴムで縛って茹でます。

(http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1011132545)

- (18) 病院で採血するとき、上腕あたりをゴムで縛って採血しますよね。これは縛ることで前腕に血液を貯め、採血しやすくしているのです。実際、ゴムで縛らずに採血することはほとんど不可能でしょう。

(<http://www.wound-treatment.jp/wound024.htm>)

また、次の例は、「縛る」動作に用いるのは針金である。針金自体には収縮性はないが、針金は、一度、形を作ってしまうと、自ら元に戻ることにはない。また、何重かにすれば、ゆるむことはなく、結び目を作る必要性はない。

- (19) さらにフミ子さんを殴り、手足を針金で縛って金の在りかを聞き出そうとしたという。

(<http://www.saitama-np.co.jp/news03/20/01x.html>)

次の例では、「縛る」動作に用いるのは粘着テープである。これもひもと違い、粘着性があるので、結び目を作る必要がなく、テープ同士を接着させれば、テープの内容物は、ずれたり動いたりしない。

- (20) △△区の無職女性方に2人組の男が侵入、女性を粘着テープで縛るなどした上、現金約30万円を奪って逃走した。

(http://www.tackns.net/word/word_otoko.html)

ゴム・輪ゴムなど収縮性のあるもの、針金など形状を保つ性質を持つもの、粘着テープのように接着できるものの例を見てきた。いずれも結び目はないと考えられる。

一方、「結ぶ」は「ネクタイを結ぶ」のように用いられる。「結ぶ」は結び目に焦点があたっており、これを、「ネクタイを縛る」と言い換えることはできない。

また、「結ぶ」には次の例のように「口を結ぶ」という表現がある。中心へ力をかけることにより、口を結び目のような形にすることを表していると考えられるが、これも、口が結び目状になっていることから作られた表現で、「縛る」に置き換えることはできない。

- (21) 彼は唇を堅く結んで電話を覗みつけ

ると、鋭いまなざしをぼくに向けた。
(<http://plaza.across.or.jp/~chouette/tbm5.html>)

②「力のかかる点」

「縛る」と「結ぶ」では、力のかかる点が異なっている。

(22) ほどけないように靴紐をぎゅっと結ぶ

(23) ほどけないように靴紐をぎゅっと縛る

上の2例では、「結ぶ」のほうが「縛る」に比べてより自然に感じられるのではないだろうか。それは、「結ぶ」のほうは結び目に焦点があたっているからだと考えられる。ほどけにくくするためには固い結び目を作ることが目的であり、内容物である足の中心に向かって力をかけることが目的ではないからである。

③「美しさ」

「縛る」は内容物の中心へ向かって力を加えるため、「荒々しさ」の意味合いが生ずる。一方、「結ぶ」は結び目に焦点があたっているため、「丁寧さ」や「美しさ」の意味合いが生ずる。

(24) 犯人は人質をビニール紐で縛った。

(25) 犯人は人質をビニール紐で結んだ。

上の2例では、上の例が自然である。

犯人が人質を動けないようにするためには、「丁寧さ」や「美しさ」は必要ではなく、人質の自由を奪うことだからである。縛る際に用いられる、ひも状のものは、荒縄やビニール紐のような装飾性のないものである。

(26) ドレスアップしてリボンで髪を結んで出かける

(27) ドレスアップしてリボンで髪を縛って出かける

(26), (27) の例では(26)の例が自然である。ドレスアップするからには、「丁寧」に、また「美し」くすると考えられるからである。結ぶ際に用いられる、ひも状のものは、リボンや帯のような装飾性のあるものである。

別義2: <ひも状のものをを用い、ひも自体に圧力をかけることにより、離れなくし、容器に入った内容物の流出をくいとめる>

これは、「結ぶ」の別義4に対応するものである。

(28) 電池は有害ごみとして燃やせないごみと同じ日に収集します。燃えがらは完全に火を消して袋に入れ、口を縛ってください。

(http://www.kamishihoro.jp/information/show_page04.php?id=328)

この別義2も、別義1同様、①「結び目の有無」、②「力のかかる点」、③「美しさ」の3点において差異が認められる。

別義3: <規則や考えなどをを用い、人の行動などに圧力をかけ、自由を制限する>

これは別義1からのメタファーである。

別義1の「ひも」にあたるものが、法律、計画、ルール、数字、決議、名前や物、思い込みであり、新聞など「動きを止められる内容物」にあたるのが、経営者、自分、人、議員、あなたの自由な思考や行動である。

(29) 無能な経営者を法律で縛ってむりやり残業代を払わさせるよりは、無能な経営者が自然淘汰される社会を目指すべき。

(<http://d.hatena.ne.jp/essa/20070128/p1>)

- (30) 確かに、なんでもかんでも計画で縛ってしまうのは息が詰まるでしょう。
(http://www.keiomcc.net/faculty-blog/2007/03/post_18.html)
- (31) あえてルールで自分を縛る。
(http://cyblog.jp/modules/weblog0/details.php?blog_id=324)
- (32) まったく、数字ってヤツは人を縛るね。
(<http://akky20060204.seesaa.net/article/19128620.html>)
- (33) 十六日までに終えた一般質問では、飲酒運転した村職員に対する懲戒処分の厳罰化を村に促す要求が相次いだ。村は厳罰化の方向で検討している。別の議員は「飲酒運転した議員が辞めるのは当然で、決議で縛る必要はない。職員と異なり、議員には四年に一度の審判もある」と反論した。また、本紙で決議案が先行報道されたことに対し「趣旨は賛同するが、マスコミを利用し議会を縛るやり方は許せない」と憤る議員もいた。
(http://www.okinawatimes.co.jp/day/200610181300_10.html)
- (34) 名前は物や人を縛る！ だから付けないのさ！！
(<http://orehaore-kimihakimi.spaces.live.com/>)
- (35) あなたを縛る「思い込み」から脱け出す法 信じてはいけない40の教え
(https://www.honya-town.co.jp/hst/HTdispatch?nips_cd=9972037967)
- 別義3の例文を見ると、窮屈で、どれも不自

由な感じがする。一方、「結ぶ」にも物体から離れた抽象的な用法が存在するが、動きを止める意味を持たず、連帯、強調の意味合いが出てくる。

- (36) 対照的な二人だが、無二の親友であり固い絆で結ばれている。
(http://www.lala.tv/request_cp/index.html)
- (37) アートが人と人を結び、大きなパワーを生み、その力を結集させて作品作りをする。
(<http://www.fujitv.co.jp/m/ainori/miyaken/m66.html>)
- (38) 祭りは人と人の心を結ぶ感動と出会いの場です。
(<http://www.city.joetsu.niigata.jp/contents/history/spot/matsuri.html>)

上の3例はいずれも「縛る」には置き換えることができない。

6. 「縛る」の多義構造

本稿で明らかになった別義とその例文を以下に示し、図2に多義構造を示す。

- 別義1：〈ひも状のものをを用い、内容物の中心へ圧力をかけることにより、物体間に存在する距離をなくし、離れなくし、動きを止める〉
- (13)' ハクサイを荒縄で縛る⁶⁾。

- 別義2：〈ひも状のものをを用い、ひも自体に圧力をかけることにより、離れなくし、

6) 例文(13)、(28)、(31)の例文を短くし、若干修正を加えた。

容器に入った内容物の流出をくいとめる）

(28) ぐみを袋に入れ、口を縛る。

別義3：〈規則や考えなどを用い、人の行動などに圧力をかけ、自由を制限する〉

(31) ルールで自分を縛る。

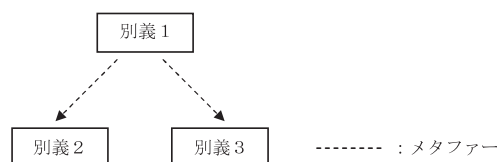


図2

本稿では別義1が多義化の起点であり、そこから別義2と別義3が派生したと考える。

7. 「縛る」と「結ぶ」

「縛る」と「結ぶ」はどちらも、ひも状のものをを用いて行う動作である。

「結ぶ」は大きく分けると、〈結び目を作ることと離れなくする〉という意味成分と、〈構造物を作る〉という意味成分を持つ。

「縛る」は〈内部に圧力をかけ、動きをとめる〉という意味成分を持つ。

「結ぶ」の別義1, 別義2, 別義5, 別義6は「縛る」に置き換えができない。

「結ぶ」の別義3は「縛る」の別義1に対応する。また、「結ぶ」の別義4は「縛る」の別義2に対応し、どちらも置き換えができる。しかし、置き換えた場合、①「結び目の有無」、②「力のかかる点」、③「美しさ」の3点で差異が生じる。

また、「結ぶ」と「縛る」は共に物体から離

れた抽象的な意味があるが、「縛る」は窮屈さ、不自由さを表し、マイナス評価になり、一方、「結ぶ」は連帯、強調の意味合いが出、プラスイメージとなる。

8. おわりに

本稿では、「縛る」の意味分析を試みた。「縛る」には、3つの別義が認められ、〈内部に圧力をかけ、動きをとめる〉という意味成分を共通に持つことがわかった。

類義語「結ぶ」と置き換え可能な意味もあるが、置き換えた場合に生ずる差異についても述べた。

ひもを用いる動作には「縛る」「結ぶ」以外にも類義語が存在する。今後はそれらの語の分析を行いたいと思う。

引用文献

- 国広哲弥 (1982) 『意味論の方法』大修館書店
- 柴田武・国広哲弥・長嶋義郎・山田進 (1987) 「ムスブ・ユワエル・ツナグ・ククルなど」『ことばの意味1』平凡社
- 藤森秀美 (2008) 「結ぶ」の意味分析」『名古屋学院大学論集 言語・文化篇』vol. 20 No1 63-73, 名古屋学院大学総合研究所
- 初山洋介 (2001) 「多義語の複数の意味を統括するモデルと比喩」山梨・辻・西村・坪井編『認知言語学論考』No. 1. 29-58ひつじ書房

辞書類

- 小泉保・船城道雄・本田晶治・仁田義雄・塚本秀樹編 (1978) 『日本語基本動詞用法辞典』初版

用例出典

() 内に URL を示したもの：検索エンジン goo
(<http://www.goo.ne.jp/>), google (<http://www.google.com/intl/ja/>) にて検索
後ろに何も示されていない例文は作例である。